

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 これからの市の重要課題は何か。（45分）</p> <p>市長選挙まで4ヶ月です。市政を運用する最高責任者として国政や県政に対する姿勢が問われます。悪政に対する市民を守る防波堤の役割を果たすことが最も肝要になります。</p> <p>（1）平和に対する姿勢は。</p> <p>（2）憲法改悪の動きに対する見解は。</p> <p>（3）医療・介護保険の社会保障改悪や国保制度の変更に対して、市民を守る姿勢を持つべきですが。</p> <p>市の重要課題は多くあります。これらにどう立ち向かうか問われます。その中でも人口減少問題、高齢化の進行にともなう包括ケアシステムの構築、待機児童ゼロ、農業大学校跡地問題等が最大の問題です。</p> <p>（4）人口減少傾向にどう向き合うか。</p> <p>（5）包括ケアシステムの構築をどうすすめるか。</p> <p>（6）すべての健診無料化を実現し、健康長寿のまちをめざすべきですが。</p> <p>（7）保育所新設への見解は。</p> <p>（8）運動公園第二期拡張計画と農大跡地とのコラボレートは。</p>	市長
<p>2 「教育勅語」容認の動きに対する見解は。（15分）</p> <p>森友学園の報道の中で塚本幼稚園児が集団で「教育勅語」を唱和している姿にゾッとしたのは私だけではないと思います。今年3月31日安倍内閣は教育勅語を教材として用いることまでは否定されない」と閣議決定しました。教育勅語の復活をねらうもので、「戦争する国」の教育をめざす、道徳の教科化や新学習指導要領と一体のものだといえます。とうとうここまで来たかという感をぬぐえないものです。教育勅語は排除決議され失効しているものです。日本憲法や教育基本法とは相容れません。</p> <p>（1）市教育委員会はどのように受け止めているか。</p> <p>（2）学校現場にどのように通知・指導するか。</p>	市長 教育委員会 教育長